



ROTARY
INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY R.I. DISTRICT 260 LETTER

COPY

GOVERNOR: **YASUKI MORI**

PC 440 42-1, ISHIZUKA, HANADACHO, TOYOHASHI, AICHI, JAPAN ☎0532-53-1000

1977年7月1日発行

No. 1

The message from President of R.I.

Serve to Unite Mankind

全人類を結びつけるために奉仕せよ

1977～78年度第260地区ガバナー・プログラム

今こそ友情を！

第260地区各ロータリークラブ

会長並びに幹事 殿

ガバナー： 森 恭 樹



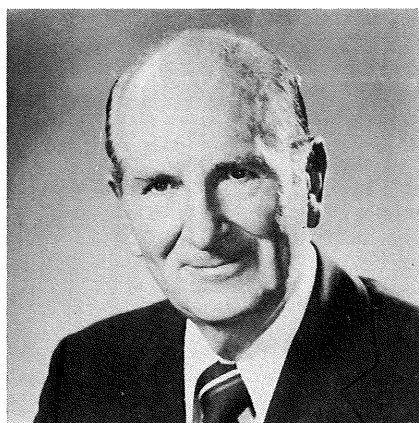
R. I. 1977年度国際協議会
米国フロリダ州ボカラートン
W. ジャック・デービス新会長と
招待昼食会会場にて

全人類を結びつけるために奉仕せよ

Serve to Unite Mankind

1977—78年度

R.I.会長メッセージ



わが敬愛するロータリアン諸君：

このロータリー年度には、われわれが受けついでこの豊富な遺産を、夢と力とをもってさらに豊かなものにしようではありませんか。四分の三世紀に近い年月にわたって、深い関心を持ち、感激にあふれる人々は、ロータリーのモットー、**超我の奉仕**の意義の深さを全世界の人々に知らしめたのであります。

人間は誰でも人格の尊厳と価値とを身に備えております。それ故、われわれが人類同胞に対する奉仕の理想に応えるにあたっては、われわれの思想と考え方、計画と活動をより豊かにし、発展拡大させようではありませんか。万人のために健康と、尊厳と、考え方の自由とを確保すべく行動しようではありませんか。

敬具

A stylized, handwritten signature in dark ink, appearing to read "Jack".

W. ジャック・デービス

1977-78年度、国際ロータリー会長

わがロータリアン諸君、どうすれば全人類を結びつけるために奉仕することができるでしょうか？ これに対する答は、職業、地域社会、及び全人類社会の各分野において人類同胞に奉仕するために身を献げている全世界のロータリアンが、その言葉と行動によって示すでありましょう。全人類を結びつけることに尽すについて、私は次のような提案をしたいのであります。

即ち、われわれは、

- ・国際親善と理解を増進するための、ロータリー 独特の能力を認識してこれを行使する；人類を分裂させようとする諸問題を排除し、これを結びつける解決法を追求するロータリーの活動に熱意をもって参加する。
- ・知恵と才覚というものは、これを利用するもの、利用する力を持つものに授けられるということを銘記して、われわれの身に備わっている奉仕する力に生氣を与える。
- ・ロータリーのプログラムに身をもって参加する；われわれの職業分類、及びクラブ・レベルで始まり遂には全世界にまで拡がって多様の中に一致を促進するフェローシップによって、われわれの持つ独特の奉仕を認識する。
- ・次の手段によってロータリーの全世界に及ぶ影響力と人道的奉仕を拡大する：
 - …もっと多くの適格者を会員に推薦する。
 - …もっと多くの地域社会にクラブを結成する努力に意を用いる。
 - …ロータリー財団のプログラムと基金に対して誠心誠意支援をする。そして
 - …すべての人と接する時、常にロータリーの原理と友好的的精神を身をもって示す。

今こそ友情を！

ガバナー・プログラム

第 260 地区ガバナー 森 泰 樹

いよいよ My year です。ロータリーでは毎年世界の会長を始め、ガバナーから各クラブの会長や役員が全部交替して、決して留任しないという厳然たるルールがあります。これは多くのロータリーの規則の中で私の最も好きな規則です。このルールが70年来揺ぎなく守りつづけられている事に、私はロータリーの新鮮さと、こよなき前進のエネルギーの秘密があると思っています。

1905 年 Paul Harris は友情という灯を人の心にともすことでロータリーを始めました。それから奉仕という考え方が生まれ、今日4大奉仕部門へと発展して参りました。このことを少しも逸脱することなく毎年毎年の会長は、その年の世界のロータリーを運営してゆくために夫々の力点を決めて来ました。一昨年のインパサイ会長は青少年奉仕に最も力を入れて運営されたし、昨年のマンチェスター会長は「奉仕の本道は職業奉仕である」と、ここに力点をおかれました。

今年私はボカトーンの国際協議会の初日に行われる会長 Jack Davis さんの声を全身を耳にして聴き入っていました。話はロータリーの起源から説き起して段々と熱を帯びて来ます。ロータリーは人と人との心の結びつきから始まる。クラブの一人一人のロータリアンの心と心とが先づ結ばれ、更にロータリーと地域の人々の心が結ばれる。そして全国の人々の心が堅く結ばれ、終いには海を渡って全人類の心と心とが結ばれるのである。人類は等しく神の子であり、人種の差別等あろう筈がない。国の争いの解決は国連という立派

な機関がある。吾々ロータリアンはそれ以前に人と人との絆(きづな)をしっかりと作り、人間的結合の揺ぎない基盤を作らねばならない。今や全世界80万のロータリアンが本然の姿に立てば戦争も暴力も無理解も起る筈はないと手を高く挙げて熱を帯びた Davis の会長スピーチを聞いて私は胸の熱くなるのを覚えると共に、これこそロータリーの原点に還った「友情」ではないかと心で叫んだのです。

何と言う崇高な、又何と云う次元の高いテーマではありませんか。私は幸いに4回程会長と個人的に話す機会に恵まれたのですが、彼の風貌は彫りの深い、厳しさの中に春の如き温容をたたえた、日本の表現を借りるならば全く悟道に入った禅僧の物腰だと表現出来ると思います。私はこの哲人のような会長に巡り会えた縁を誇りをもって全会員にお知らせし、又彼の思想を敷衍(ふえん)して行き度いと思います。

多岐亡羊と申します。何でも彼でもやりかけて全てが中途半端に終るよりも、何か完全なものが一つ光ることが望ましいと思います。

さあ、今年の会長さんは自分のこの年に何を一番力を入れてやろうと考えてみえますか。会長は二度とは決して廻って来ません。自分の1年が終わった後に「俺はあれをやったんだぞ」と云うほろ甘い満足感が生涯思い出され、又会員の方々もその事によって、その時の会長を思い浮べられるようなプロジェクトは一体何でしょう。私もガバナーは一年しかやりません。私は Davis 会長の心として「友情」こそロータリーの原点であるとの思いを新らたにして、そこから全てのロータリー活動を始めて行きたいと思っています。

さあ皆さん、も一度隣の人、横の人の手をしっかりと握り合うことから始めようではありませんか。

R. I. 会長 Mr. ジャックのプロフィル

長身の体からにじみでる感じは春の風のように温く、巾の広い人(森G.感)事業家にふさわしく数字に強く、大の親日家。人望

がありジャックスバックと称するシンクタンクを世界で20人持ち、安野P.G.は唯一人の日本人メンバー。

藤原直前ガバナーと 三井前地区幹事に対する 謝辞

第 260 地区ガバナー

森 泰 樹

藤原さん、大変な一年でした。あなた程ノミニー時代に全力投球して、何でも彼でも勉強した人を私は知りません。私は終始傍にいて、こんなに大変なことかと次に来るべき自分の年度の事を思っ

た。あの元気なあなたが過労のため10月初めに入院されたことをきいた時には私は自分の耳を疑った程でした。

地区大会はガバナーのハイライトです。その時、既にあなたは病床にあった。前夜祭で明日からの成功を祈る乾杯の時、遙かに病床にあつて只管無念さに堪えているあなたの胸中を思い、私は目頭の熱くなるのを覚えました。然し病床にあつても少時もゆるみなく全クラブを細心に指導されました。私は病床に於て却って頭が冴えて来たとさえ思った程でした。

仕事 半ばにして 不幸にして 倒れたとは云え、あなたは三井君という世にも稀れな名地区幹事に恵まれていた。貴兄の方針は一言一句もたがわず三井君を通じて全クラブに浸透して行きました。

幸いに早く元気になられて、バストガバナーとしてノミニー時代のあの燃ゆるような情熱を再びこの地区のためにおそそぎ下さい。

最後に病床のガバナーを助けて、何の支障もなく立派に地区を運営された三井前地区幹事に最大のお礼の言葉を贈り度いと思います。

藤原さん、三井さんどうも有難うございました。

森ガバナー公式訪問予定表（前期分）

7月 8日（金） 田 原	8月 3日（水） 稲 沢	9月 1日（木） 名古屋東南
9日（土） 奥三河	5日（金） 春日井	2日（金） 尾張旭
14日（木） 松 川	11日（木） 名古屋西	6日（火） 名古屋
15日（金） 飯田南	12日（金） 常 滑	8日（木） 豊 田
16日（土） 蒲 郡	13日（土） 一 宮	9日（金） 名古屋北
19日（火） 飯 島	17日（水） 名古屋南	16日（金） 新 城
20日（水） 飯 田	19日（金） 一 宮 北	17日（土） 東 知 多
22日（金） 岡 崎 南	20日（土） 名古屋守山	20日（火） 白馬 例会日変更
26日（火） 西 尾	24日（水） 辰 野	21日（水） 大 町
27日（水） 碧 南	25日（木） 伊 那	22日（木） 松 本
29日（金） 安 城	26日（金） 箕 輪	27日（火） 高 浜
8月 2日（火） 犬 山	31日（水） 豊 川	28日（水） 小 牧

国際年次大会に出席して

第 260 地区ガバナー

森 泰 樹

第68回国際ロータリー年次大会は6月5日から9日迄5日間、風薫る桑港のシヴィック・ホールで行われました。全世界 152 カ国から全登録者数 14,168名（内会員 8,086名）で日本人登録者2,075名（内会員1,271名）で米国



国際ロータリー年次大会本会議場全景

に次ぐ人員でした。

今年の大会委員長は東京クラブの湯浅恭三氏で、流石第一日の委員長の開会宣言の時は日本の方は殆んど出席して熱気溢るる空気でした。大会はマンチェスター会長の荘重な司会の下に進められ、5日間に亘って盛り沢山の行事が手際よく進められました。ホスト・クラブの桑港クラブの方々は大変な肝入りで、桑港のゴールドラッシュから今日迄の歴史を映画、劇、音楽等と取り入れて興味深く説明されたのは興味と感動を覚えました。又ホーム・ホスピタリティといって多くの吾々各国の会員を自分の家のお茶の時間に招待してくれて国際親善の実を挙げられ、訪問した日本の人々も米国の家庭を知って大変有意義であったと申してみえました。

又、ニュースウィーク誌副編集長のラリー・マツズ氏（ニューヨーク在住）は自分が元ロータリー財団奨学生であった経験から「全世界が必要とするコミュニケーションの改善……ロータリーが寄与できる方途」と題されてロータリーが世界平和のために今迄何をなし、又これから何をなす可きかを具体例を挙げて詳細に話され、一同に深い感銘を与えました。

最後にお礼を申しのべねばならぬのは大会前3日間セント・フランシスホテルで行われた規定審議会に当地を代表して御出席頂いた安野バスト・ガバナーの御苦勞に対してであります。私はオブザーバー席から活発に討論に参加してみえる姿を見、頭の下る思いでした。その詳細については追って解説されるでしょうが、先づ以て全会員を代表して厚くお礼申し上げます。

お知らせとお願い

「出席報告」前月分を翌月7日 G. 事務所必着でお願いします。

「サマリー」用紙は現在7～9月前期公式訪問決定クラブ宛のみ発送済です。

「送金カレンダー」は地区協幹事部会で渡し済ですので本レターには載せてありません。コピーを必要なクラブは G. 事務所へご連絡下さい。

「例会場、日時、場所、登録料等の変更」及び「会員の計報」は速やかにご通知下さい。

1977—78年度地区役員及び委員会委員

◎は委員長 ○は小委員長

ガバナー	森 泰 樹 (豊 橋)	①教育補助金	○小 山 福 松 (名古屋合)
地区幹事	高 沢 隆 (豊 橋)		吉 田 市 郎 (名 古 屋)
地区副幹事	石 川 昌 (豊 橋)		楠 山 下 仙 三 (名 古 屋)
	小 田 公 平 (豊 橋)		木 村 喜 助 (飯 田 南)
地区会計長	河 合 圭 吉 (豊 橋)		○伊 藤 長 一 (名古屋西)
地区諮問委員会	伊藤次郎左衛門 (名 古 屋)	②財 団 学 友	早稲田 国 勝 (瀬 戸)
	佐 藤 知 雄 (名古屋東)		鈴 木 芳 永 (上 田)
	安 野 讓 次 (一 宮)	③財 団 推 進	○荒 川 長 太 郎 (名 古 屋)
	原 享 二 (飯 田)		浅 野 甚 七 (名 古 屋)
	鮎 谷 賢 太 郎 (名 古 屋)		植 松 唯 四 郎 (碧 南)
	山 田 市 三 郎 (名古屋南)		北 野 幾 造 (長 野 野)
	藤 原 正 男 (諏 訪)	④研究グループ	○鮎 谷 賢 太 郎 (名 古 屋)
	内 藤 卯 三 郎 (岡 崎)	交 換	岩 田 一 郎 (名 古 屋)
	神 野 太 郎 (豊 橋)		神 野 太 郎 (豊 橋)
	近藤友右衛門 (名 古 屋)		酒 井 博 (駒 ケ 根)
地区指名委員会	滝 沢 卓 夫 (松 本)		磯 村 浩 隆 (豊 橋)
	森 泰 樹 (豊 橋)		折 井 正 達 (松 本)
	藤 原 正 男 (諏 訪)		下 郷 弥 太 郎 (名古屋東南)
	山 田 市 三 郎 (名古屋南)		樋 口 美 典 (小 諸)
	鮎 谷 賢 太 郎 (名 古 屋)		加 藤 博 (一 色)
	原 享 二 (飯 田)		○佐 藤 知 雄 (名古屋東)
分区代理 (尾張第1)	岩田 嘉七 (名古屋北)	青少年奉仕委員会	○鈴木 武 二 (名 古 屋)
(尾張第2)	福田 源一 (江 南)		○鈴木 武 二 (名 古 屋)
(三河第1)	板倉 三郎 (蒲 郡)	①青 少 年 交 換	清 水 武 吉 (松 本)
(三河第2)	神谷 昭司 (高 浜)		加 藤 一 三 (名古屋北)
(東北信)	中里三七雄 (軽 井 沢)		志 賀 為 久 (岡 崎)
(南信第1)	福島 忠雄 (大 町)		柳 沢 方 (丸 子)
(南信第2)	丸山 昌寿 (飯 田)	②インターアクト	○渡 辺 末 次 郎 (豊 田)
クラブ奉仕委員会	◎近藤 友右衛門 (名 古 屋)		村 達 郎 (名 古 屋)
	田 辺 三 郎 (常 滑)		小 平 進 一 (松 本)
	北 秀 之 (春 日 井)		天 野 龍 夫 (岡 崎)
	小林 益 三 (小 諸)		伊 藤 昭 彦 (豊 橋)
	池 上 眞 通 (松 本 南)		中 尾 智 (豊 川)
	桃 沢 茂 雄 (飯 島)	③ローターアクト	○沢 田 富 之 助 (一 宮)
	墨 末 芳 (一 宮)		後 藤 新 三 (飯 田)
	矢 沢 俊 三 (松 川)		梅 田 章 次 (岡 崎)
職業分類委員会	◎安 野 讓 次 (一 宮)		江 端 正 雄 (名古屋港)
	吉 原 久 夫 (津 島)		内 柴 義 郎 (田 原)
	小 口 進 一 郎 (岡 谷)		服 部 友 巳 (豊 橋)
	前 田 長 八 (名古屋東)	組 み 合 せ 地 区	◎藤 原 正 男 (諏 訪)
会員増強委員会	◎山 田 眞 一 (一 色)	ク ラ ブ	佐 野 直 彦 (名古屋合)
	◎原 享 二 (飯 田)		田 中 徹 (半 田)
	池 上 英 雄 (辰 野)		此 田 滋 (岡 谷)
	清水 芳 二 (豊 橋 北)	世 界 社 会 奉 仕	◎小 玉 知 夫 (名 古 屋)
拡 大 委 員 会	◎山 田 市 三 郎 (名古屋南)	委 員 会	神 野 三 男 (名古屋西)
	伊 藤 長 一 (名古屋西)		矢 沢 重 幸 (駒 ケ 根)
	加 藤 邦 太 郎 (長 野)		佐 藤 泰 春 (軽 井 沢)
	高 橋 得 三 (名古屋西)	世 界 親 睦 委 員 会	◎水 野 民 也 (名古屋東)
	島 恒 治 (松 本 南)		井 上 修 郎 (松 本)
	大 竹 和 美 (あ ま)		瓜 生 修 一 (名古屋守山)
	岩 田 玖 也 (名古屋南)	地 区 資 金 委 員 会	◎赤 津 賢 太 郎 (名古屋南)
	飯 島 久 孝 (小 諸)		中 井 武 雄 (名古屋東)
	野 沢 東 三 郎 (豊 橋 北)		松 井 澄 寿 (諏 訪)
広 報 委 員 会	◎鈴 木 敏 三 郎 (名古屋南)	米 山 記 念 奨 学 会	◎小 森 澄 久 夫 (豊 橋 南)
	石 井 武 夫 (名古屋港)		加 藤 庄 一 (岡 崎)
職業奉仕委員会	◎川 瀬 保 (名古屋南)		平 林 泰 雄 (大 町)
	河 合 利 周 (名古屋北)	R の 友 地 区 委 員	三 井 章 義 (諏 訪)
	中 村 文 明 (諏 訪)	雑 誌 委 員 会	◎三 井 章 義 (〃)
	池 上 房 男 (伊 那)		水 野 茂 樹 (刈 谷)
ロータリー財団	◎伊藤次郎左衛門 (名 古 屋)		堀 江 四 郎 (名古屋中)
	○林 達 夫 (名古屋南)	オ ン ツ ー 東 京	田 辺 三 郎 (常 滑)